

くらしのなかの 水道・下水道



～水道週間のお知らせと古くなった水道管の更新工事について～

☎上下水道事業所 ☎25-5522

■令和5年6月1日から7日までは第65回「水道週間」です

水道週間は、厚生労働省が各事業者での広報活動などを通して、水道への理解と関心を高めることを目的に昭和34年から実施されています。

本年は「水道水 安心・安全 これからも」をスローガンに広報活動などが実施されます。

本市では、市民の皆さんに安全・安心な水を利用いただくため、水道水質検査計画書で水質検査を行う場所や検査項目を定め、検査機関による水質検査を毎月1回実施しています。なお、令和4年度の水道水質は全て基準値内でした。詳しい水質検査計画書や水質検査結果については、ホームページをご覧ください。



▲水質検査について

■古くなった水道管の更新工事をしています

古くなった水道管が破損し、大規模な漏水が発生した場合、周辺箇所では水圧が低下することによって水が出にくくなるなど、断水を伴う修繕工事が必要になります。上下水道事業所では、「水道ビジョン」に基づき、計画的に古くなった水道管を新しい水道管に入れ替える工事をを行っています。

令和2年度から令和4年度までに、市中心部の市道中央通り線（旧国道4号）、市道郡山長町線（旧国道113号）および県道白石停車場線（白石駅前通り）など、交通量の多い道路の地下に埋設されている水道管を更新しました（右図参照）。



▲今回更新工事を行った箇所



▲水道管の更新作業をしている様子

工事期間中は、長期にわたり道路の通行規制や断水作業でご迷惑をおかけしましたが、市民の皆さんのご協力により、これまでの更新工事を完了することができました。

市街地の水道管は古いもので60年以上経過している管もあり、計画的に新しい水道管に取り替える必要があります。

本年度も「水道ビジョン」に基づき、計画的に更新工事を進めていきますので、今後ご理解とご協力をお願いします。



子どもの歯を守ろう！



～6月4～10日は歯と口の健康週間です～

☎健康推進課 ☎22-1362

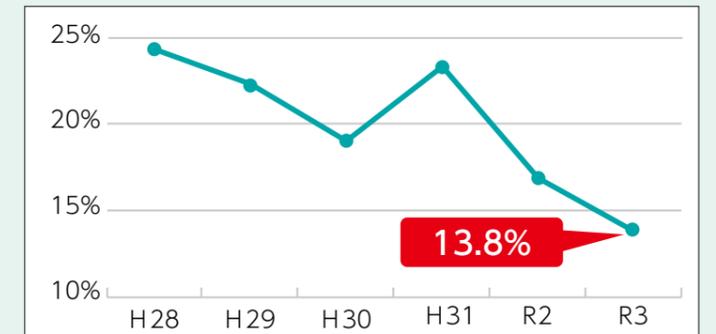
白石の子どもはむし歯が多い!?

本市の3歳6カ月児健康診査では、かつて3人に1人以上はむし歯が見られ、宮城県の中でもとりわけむし歯の多い地域でした。

最近は4～5人に1人程度に減っていますが、全国的にむし歯が見られるお子さんは減っているため、県や国の平均になかなか追いつかない状況です。

※平成21年度は36.6%でした。

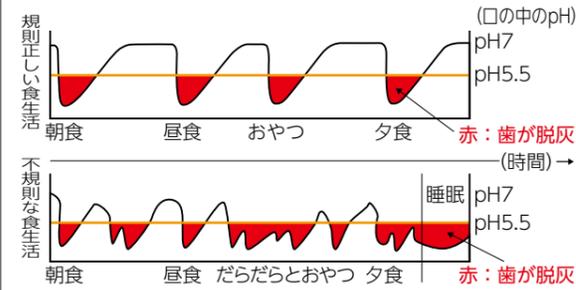
本市の3歳児むし歯保有率 (%)



※R3 宮城県：12.1% 全国：9.5%

1日の食べる時間と、むし歯のリスク

・食べた後の赤い時間帯に、歯がとがされています（脱灰）



むし歯を予防しよう！

糖が入った食べ物や飲み物をとると、口の中の細菌が酸を出して歯をとがします（脱灰）。

唾液（つば）は、とけた歯を元に戻す働きがあります。だらだらと食べることで歯がとがされる時間が長くなり、むし歯になりやすくなります。



①おやつは時間と量を決めてとりましょう！

2歳6カ月児・3歳6カ月児の歯科健診およびアンケートの結果から、「時間や量を決めずに、1日に複数回おやつを食べている」お子さんは、そうではないお子さんと比べて、むし歯がある子が2倍多いという結果が見られました。

②フッ化物（フッ素）を活用しましょう！

フッ化物（フッ素）入りの歯磨き粉を使ったり、歯科医院で塗ってもらったりすることで、歯の質を強くし、むし歯になりにくくなります。また、安全性も確認されています。

③子どもも大人も歯科医院での定期歯科健診を受けましょう！

むし歯や歯周病は早期発見・早期治療が大切です。かかりつけの歯科医院で定期的に健診を受けましょう。

歯周病検診を受けましょう！

次の年齢の方を対象に、歯周病検診を行います。近くなりましたらご案内を郵送します。

●対象 30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の方

●期間 9月～令和6年2月末